



### 新任ごあいさつ

鳥屋野地区公民館  
館長 平田 和彦

公民館の仕事は初めてになりますが、趣味の音楽活動の場として、市内の公民館をよく利用しています。利用者としては、インターネット予約ができ、低廉な使用料は当日支払いで事前に足を運ぶ必要はないことから、使いやすい施設であると思っております。こうした貸館業務＝市民の自主的な学習活動を支える業務も、公民館が主導する講座による学習活動と同様に、ひいては人づくり、地域づくりに役立つための大切な公民館事業だということをお心掛けていきたいと考えています。

公民館は、「人々が、自らの力で、暮らしを切り開く知恵と力を身につける場」ですが、公民館で学習したことを、ご家族や地域の方にお伝え願えればありがたいと思っています。そして、それをもう一歩進めて地域の課題に関心を持ち、コミュニティ協議会活動に協力する人が増えることを期待し、公民館事業に取り組んでまいります。



### 新任ごあいさつ

南地域保健福祉センター  
所長 上田 文子

4月より、南地域保健福祉センターに着任いたしました。センターには保健師・看護師・ケースワーカーがおり、地域の皆様の健康づくりや福祉の相談業務を担当しております。

当センターは、出張所・公民館・図書館との複合施設で、毎日多くの市民からご利用いただいております。各種健診や健康相談の他に、地域に出向いての健康講座や高齢者の地域の茶の間づくりなどのお手伝いもさせていただいておりますので、ぜひお気軽にお声かけください。

さて、5月に上所校区コミュニティ協議会総会に出席させていただき、皆様が地域の課題解決のために、熱心に取り組まれている様子を拝見させていただきました。

当センターも微力ではございますが地域の皆様との連携を強化し、安心・安全なまちづくりの一翼を担えるように努力してまいります。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

### テーブルは一つで話し合う居場所づくり

上所校区コミュニティ協議会  
副会長・幹事長 浅野 昌禧

上所校区コミュニティ協議会も7年目を迎え、新たな組織のもと、再出発することになりました。

今年度も事業部の中に4部会（教育・スポーツ部会、環境・まちづくり部会、安心・安全部会、福祉・保健部会）をもうけました。本来行政側の指導は、「地域コミュニティ協議会とは小学校単位で、自治会・町内会を中心に地域のさまざまな団体が参加し、防災や地域福祉・教育など地域の諸課題の解決に取り組む組織です。地域の課題は一自治会・町内会では解決が難しく、そのため地域住民がお互いに話し合い、協力しながら解決を図らなければならない場合が少なくありません。しかし、地域の課題が複雑化、多様化する昨今、自治会・町内会にとって荷が重過ぎる場合が多々あります。そこで地域コミュニティ協議会において今まで以上に広範囲・多岐にわたる知識や経験を結集し、解決しようとする」ものです。

たとえば、校区内の子供・老人の安全をいかにして確保するかということに関して、それぞれの団体がそれぞれの単位で考え活動しています。それらの同様の活動を当協議会において一つのテーブルで話し合い、統一出来る事業は集約し、協働で開催することにより簡素化も出来、幅の広い情報交換が出来ます。

いまだ、当コミュニティ協議会に自治会以外の諸団体の加盟参加ゼロ状態であります。現在一部共催事業も行われておりますが、まだ、完璧ではありません。

今年度の大きなねらいは、さまざまな団体が構成団体として当コミュニティ協議会に加盟していただき、福祉（要援護者の見守り等）・子供の安全・旧市場問題・防犯防災などの課題を、それぞれの単位ではなく各部会に



### “地域と共に”

上所小学校PTA  
会長 沼波 功次

皆様には、日頃よりPTA活動にご理解とご協力いただき感謝申し上げます。

今年の上所小学校において、「上所夏まつり」を開催致します。

このお祭は、皆様のご協力をいただいて初開催となりますが、学校行事の枠にとどまらず、今後、地域コミュニティの核となれる様、取り組んでいきたいと思っております。是非とも多勢の方々にご参加いただき、ご意見を寄せて下さいます様お願い致します。

今年の上所小学校のPTAのスローガンですが「創造とふれあい～地域とともにある学校づくり～」です。

地域の方々によりふれあえる機会が増え、共に情報交換やお知恵をご教示いただき、学校と地域が同じ方向に向いて取り組める様、どうか皆様の一層のご協力をよろしくお願い致します。

参加され、自治会・町内会と、さまざまな団体とが協働出来ることを共に考え、この組織が多くの住民から賛同いただける組織にして活性化されることにより、安心・安全で生き生きと暮らせるまちづくりに寄与出来ることです。

最後に、さまざまな団体をお願いいたします。お互いの目標は同じです。協働出来る部会に参加いただきテーブルを一つに上所校区内の住民のために一丸となって努力しましょう。

# かみところ

第14号



鳥屋野潟と公園の景観（新潟県提供）



## 強いきずなを作る地域に

上所校区コミュニティ協議会  
会長 真島 義郎

紫陽花が一段と美しい季節になりました。

上所校区コミュニティ協議会に加入されている自治会・町内会の皆さま方には、常日頃、当コミ協の運営について大変なご理解とご協力を戴き、大変に感謝をしております。

この度、前会長の宗村多四郎氏から、去る、5月に開催されました25年度の総会にバトンを受けました。多くの問題に時には押しつぶされそうになり、困惑しておりますが役員一同、一致団結して取り組む決意であり、なにとぞ宜しくお願い申し上げます。

今年度も組織面は変わらずに、総務部、教育・スポーツ部、環境・まちづくり部、安心・安全部、福祉・保健部として各部はさらに積極的に事業を進めてまいりますのでご協力を宜しくお

願い申し上げます。

防災関連については、上所校区自主防災会に加盟していない「自治会・町内会」の皆さまにぜひ加盟していただき、防災訓練と津波の一時避難訓練等にも参画していただきたいと思っております。

大都會の片隅に地域とのつながりが途切れて、残念な母子死亡事件等が起きております。隣近所等での良き友人を持つことが大切と思っております。

今年は、夏休みを利用して上所小学校に『まつり』を企画しております。こどもたちの健やかな成長と強いきずなを作る地域に楽しい笑顔で参加できるように取り組んでまいりますのでご協力を宜しくお願い申し上げます。

# 上所校区 (コミュニティ協議会) つてなあに

自治会を軸にして民生児童委員、小学校、中学校のPTA・育成協、文化、スポーツ、環境、福祉などの団体が集まって住民活動を展開する地域共同体です。

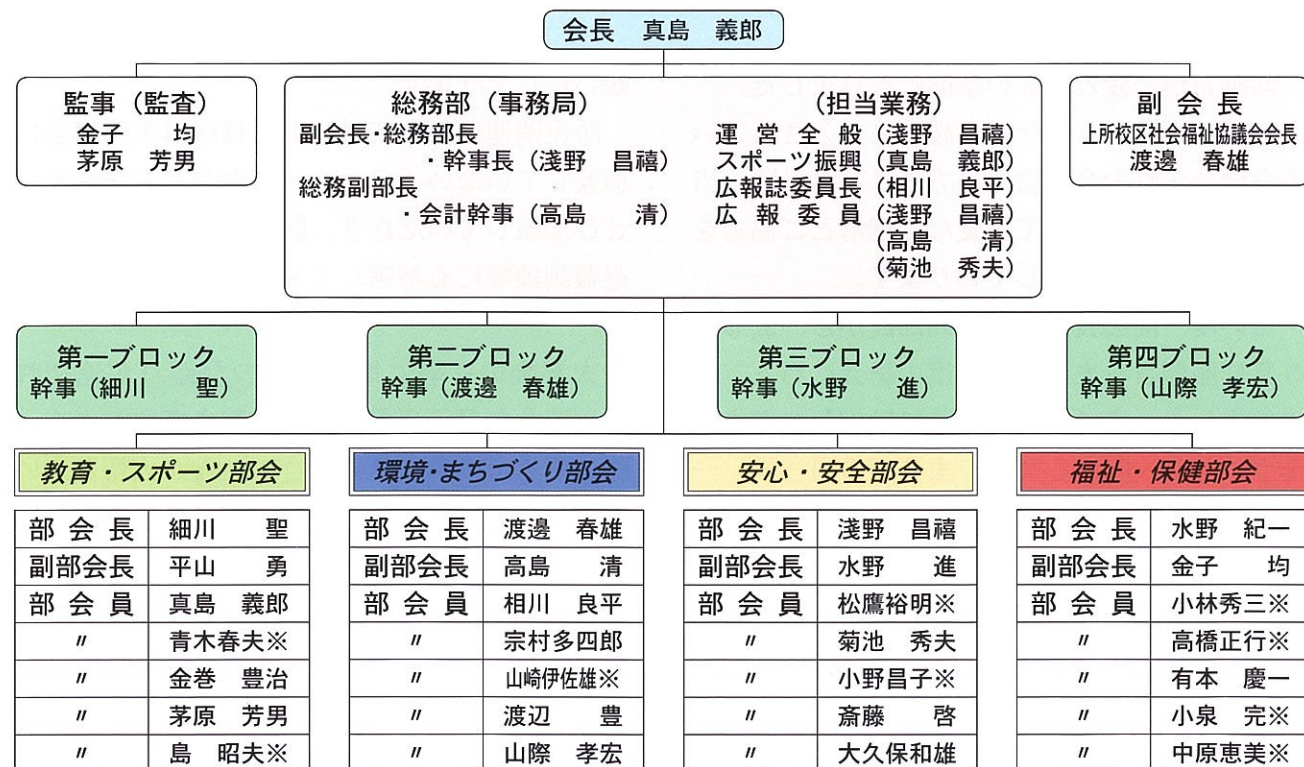
平成18年秋に結成されて7年目になりました。



## 平成25年度 上所校区コミュニティ協議会 事業計画

年月日	事業内容	備考
25 4 4	企画会議	
18	第1回役員会議・新体制など・総会準備	
5 11	総会	
20	市助成・補助金に関する申請検討	
22	四部会合同研修会議	
29	第2回役員会議	
6 5	上所小職員との意見交流会	
14	第3回役員会(拡大) 〔専門部会事業計画、予算案他〕	
28	広報「かみところ」第14号発行	(市の補助金で対応)
7 6	上所地区民生・児童委員と自治・町内会長の合同研修会	
24	地域諸団体との合同会議(市の補助金で対応) (連携のあり方・地域の課題など)	上小PTA、スポーツ振 民児協、老人クラブ等
9 20	第4回役員会	
29	各部会の企画事業「防災フェスタ開催」	地域活動費補助金
10 6	(レッツ・エコウォークの実施)	
	各部会の企画事業	
11 2	各部会の企画事業「信濃川治水歴史めぐり 視察研修」	地域活動費補助金
11	第5回役員会議・各部の連絡会	
16	各部会の企画事業・防犯研修会	
26 1 15	広報「かみところ」第15号発行	(市の補助金で対応)
2 14	地域諸団体との合同会議(市の補助金で対応) (連携のあり方・地域の課題など)	上小PTA、スポーツ振 民児協、老人クラブ等
25	第6回役員会(今年度の反省と来年度の準備)	
3 17	第3回役員会(拡大) 「専門部会事業・会計報告:監査」	
20	市助成金、補助金関係実績報告	
31	会計監査(総務部)	

### 上所校区コミュニティ協議会組織図



※新任



### 総務部

全自治・町内会長と役員で構成され、運営に関する重要事項を協議し処理します。また、各自治会の連絡調整にあたり、必要に応じて住民への広報活動を行います。

部会長 浅野 昌禧



### 環境・まちづくり部会

旧新潟市中央卸売場跡地の利活用についての新潟市との意見交換会や鳥屋野瀧整備実施計画に関する勉強会などが当面の重要な課題となっています。

部会長 渡邊 春雄



### 安心・安全部会

自主防災活動を推進するための研修を行ったり、犯罪のない明るい地域づくりのために活動します。

部会長 浅野 昌禧



### 教育・スポーツ部会

地域の文化活動の展開や健康づくり等に関するものを協議し、文化やスポーツ活動の活性化を図ります。地域の子どもたちを安全、安心な環境で育てることができるよう活動します。

部会長 細川 聖



部会では  
こんな活動  
をします

### 福祉・保健部会

高齢者が安心・安全に暮らせるまちづくりを

全国的な広がりを見せている「救急医療情報キット」。上所コミュニティ協議会では、社会福祉協議会のモデル事業で、この2年間でおよそ500世帯の高齢者に無料配布することができました。民生児童委員のご協力に深く感謝申し上げます。

高齢化がすすむ地域住民の命を守るためにも今後もこの事業は、何よりも自治会長と民生児童委員の連携を密にしながら継続して取り組むことが大切と思われます。問題は財源が不透明ということです。また、ひとり暮らし高齢者のための買い物支援、ごみ出し支援、災害時要援護者支援など多くの課題があります。高齢者が安心・安全に暮らせるまちづくりに皆さんのご協力のもと、地域の福祉活動を充実、推進させたいと思います。

部会長 水野 紀一

